

(株)黄桜の里の運営状況をお知らせします。

【主な指定管理施設:東由利道の駅周辺施設】

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
年間利用者数(人)	(A)	140,406	139,083	94,827
従業員数(人)	(B)	39	35	30
年間売上高	(C)	164,048,204	159,641,572	94,867,288
売上総利益	(D)	100,259,007	98,273,505	61,112,203
販売費一般管理費	(E)	151,394,826	142,557,522	114,442,969
営業利益	(F)	▲ 51,135,819	▲ 44,284,017	▲ 53,330,766
市からの補助金額	(G)			
市からの指定管理料	(H)	27,873,407	28,127,477	29,604,177
純利益(純損失)	(I)	▲ 13,129,705	▲ 13,479,071	▲ 9,638,572
資産額	(J)	46,898,825	27,268,220	46,806,550
負債額	(K)	19,221,160	13,069,626	42,246,528
純資産額	(L)	27,667,665	14,198,594	4,560,022
資本金	(M)	96,000,000	96,000,000	96,000,000

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者1人当たり売上	C/A	1,168	1,148	1,000
従業員1人当たり売上	C/B	4,206,364	4,561,188	3,162,243
利用者1人当たり営業利益	F/A	▲ 364	▲ 318	▲ 562
従業員1人当たり営業利益	F/B	▲ 1,311,175	▲ 1,265,258	▲ 1,777,692
利用者1人当たり補助金	G/A	0	0	0
利用者1人当たり指定管理料	H/A	199	202	312
利用者1人当たり負債額	K/A	137	94	446
粗利率	D/C	61.1%	61.6%	64.4%
販管費率	E/C	92.3%	89.3%	120.6%
自己資本比率	L/J	59.0%	52.1%	9.7%
負債比率	K/L	69.5%	92.0%	926.5%
資本剰余額(欠損額)	L-M	▲ 68,332,335	▲ 81,801,406	▲ 91,439,978

【用語解説】

粗利率(売上総利益÷売上高)	売上高から原価を差し引いた粗利益を比率にしたものを示した指標。売上高に対する売上総利益の比率を表す。企業の大まかな利益率を把握するための、基本的な指標。
販管費率(販売管理費÷売上高)	売上高に対する販管費(販売費、一般管理費)の比率を示す指標。売上に対して過剰に経費がかかっているかなどを確認する際に使用する。この比率が低いほど効率的な経営を行っているといえる。
自己資本比率(自己資本÷総資産)	総資産に対する自己資本の比率を表す指標。自己資本は、株主からの出資や会社の利益からなるもので、自己資本比率が高ければそれだけ借入金が多く、健全な経営を行っているといえる。一般的に50%以上が望ましい。
負債比率(負債÷自己資本)	自己資本に対して負債がどの程度あるかを表す指標。財務的な安全性を測る指標として用いられており、一般的には負債比率が低いほど財務的な安全性が高い。負債比率が100%以下であれば自己資本で全ての負債を返済できるので問題はない。
資本剰余額(欠損額)	純資産額(資本総額から負債総額を引いた額)から資本金額を差し引いた額。